

# 第63回通常総会

開催日 令和8年5月27日（水）

会 場 東京都千代田区隼町1-1  
ホテルグランドアーク半蔵門

一般社団法人 全国道路標識・標示業協会

# 第63回通常総会次第

1. 開 会

2. 会長挨拶

3. 表 彰

4. 議長選出

5. 総会出席者報告

6. 議事録署名人の選任

7. 議 事

決議事項

第1号議案 令和7年度事業報告（案）

第2号議案 令和7年度決算報告（案）

報告事項

1 令和8年度事業計画

2 令和8年度収支予算

8. 閉 会

## 第1号議案

# 令和7年度事業報告（案）

## 第1 事業活動の推進状況

### 1 受注拡大を目指した要望活動等の推進

～安全かつ快適な道路交通の確保のために～

- (1) 10月10日（金）、国土交通省道路局、北海道局、警察庁交通局、内閣官房国土強靱化推進室及び財務省に対し、要望書を提出し、標識標示予算の充実、標識老朽化対策の実施等を要望した。
- (2) 国土交通省との勉強会は、9月16日（火）に第14回目を国土交通省において開催し、関係幹部に説明等を行った。
- (3) 全国交通安全運動、道路ふれあい月間等に協賛した。
- (4) 建設キャリアアップシステムについては、全標協において532件（非会員71件を含む。）の申請に対し、審査及び承認を行った。

### 2 調査研究活動の推進

老朽化した道路標識の取替が的確に行われるよう道路標識の昼間の視認性（見え方）に関する数値的基準を新たに策定する必要があることから、令和6年度に立ち上げた道路標識視認性検討会において、本年度、実証実験を行うなどして調査研究を進めた。

### 3 支部等及び関係団体等との連携

- (1) 支部や県協会による講習会、研修会等が開催され、全標協は要請に応じ、講師を派遣するなどの支援を行った。
- (2) 県協会等で行われる交通安全活動等の社会貢献活動について、活動状況をトラフィックサポーターで広報する等支援を行った。
- (3) 防災・減災対策、国土強靱化に資するため、支部及び都道府県協会が締結を進める防災協定活動に対して情報提供等を行った。
- (4) 9月4日（木）、青年部会により第1回「メーカー勉強会」を開催した。

### 4 全標協の組織の充実強化等

- (1) 「道路標識点検診断士」の育成推進等のため、会員の雇用する職員で資格を取得した者46名に対し、必要な助成を行った。
- (2) 若い世代の声をこれまで以上に取り入れ、一層活力ある協会としていくため設置された青年部会による活動が始まった。

### 5 技術者・技能者育成事業の推進

#### (1) 登録基幹技能者講習の実施

ア 7月16日（水）～18日（金）及び11月12日（水）～14日（金）に富士教育訓

練センター（静岡県富士宮市）において、登録標識・路面標示基幹技能者講習を実施した。同講習は149人（標識61人、路面標示88人）が受講し、131人が登録基幹技能者の資格を取得した。

イ 登録基幹技能者資格の有効期間（5年）が満了する者を対象者とする更新講習を、6月3日（火）～4日（水）に自動車会館（東京都千代田区）及びウインクあいち（名古屋市中村区）、6月12日（木）～13日（金）にサン・イレブン高松（香川県高松市）、11月26日（水）～27日（木）にホテルプリムローズ大阪（大阪市中央区）及び大博多ビル（福岡県福岡市）、12月2日（火）～3日（水）に自動車会館において実施し、366人（標識172人、路面標示194人）が更新した。

## (2) 道路標識点検診断士研修の実施

ア 9月8日（月）～12日（金）に富士教育訓練センターにおいて、道路標識点検診断士研修を実施した。同研修は64人が受講し、61人が道路標識点検診断士の資格を取得した。

イ 道路標識点検診断士資格の有効期間（5年）が満了する者を対象者とする更新研修を、6月5日（木）に自動車会館及びウインクあいち、11月27日（木）にホテルプリムローズ大阪、12月4日（木）に自動車会館において実施し、67人が更新した。

## (3) 路面標示施工技能検定への協力

職業能力開発促進法に基づき厚生労働大臣から与えられる路面標示施工技能士の資格を取得するための技能検定について、全標協の役員等が中央職業能力開発協会中央技能検定委員として参画した。

## (4) 更新講習・研修へのeラーニング方式導入のための準備

更新講習・研修へのeラーニング方式導入のための準備

令和8年4月から、受講者の利便性確保と派遣企業の負担軽減のため、5年ごとの更新講習・研修にeラーニング方式を導入することとし、必要な作業を進めた。

## 6 広報活動の推進

(1) 機関紙「トラフィックサポーター」は、年4回発行し、会員企業のほか、関係官庁、関係団体等に約5,200部を配布した。

(2) 全標協ホームページは、内容の速やかな更新に努め、その充実を図った。

(3) 青年部会により、SNSを利用した活動を開始した。

## 7 表彰の推進

(1) 10月に、5人が優秀施工者国土交通大臣顕彰（建設マスター）を、3人が青年優秀施工者不動産・建設経済局長顕彰（建設ジュニアマスター）をそれぞれ授与された。

(2) 通常総会において、会長が協会業務に貢献した9人及び優良技能者19人に表彰状を授与し、事務局長等を退任した2人に感謝状を授与した。

## 8 図書等の発行

路面標示ハンドブックについても、改訂版の発行にあわせて道路標識ハンドブックに続きデ

デジタル化を行い、PCやタブレット端末で閲覧できるようにした。

## 9 設立50周年記念事業の準備

令和8年(2026年)4月に全標協が設立50周年を迎えることから、記念事業の準備作業を進めた。

## 第2 会議等の開催状況

### 1 総会

5月28日(水)午後2時30分からホテルグランドアーク半蔵門において第62回通常総会を開催した。

同総会において下記の決議事項を審議し、いずれも承認された。また、下記の報告事項が報告された。

#### 決議事項

- 第1号議案 令和6年度事業報告(案)
- 第2号議案 令和6年度決算報告(案)
- 第3号議案 定款の一部変更の件(案)
- 第4号議案 役員報酬の総額一部改正の件(案)
- 第5号議案 理事及び監事選任の件(案)

#### 報告事項

- 1 令和7年度事業計画
- 2 令和7年度収支予算

### 2 理事会

3回の(定時)理事会を開催した。また、5回の臨時理事会を開催し、うち4回は書面決議により行った。審議事項等は下記のとおりである。

#### (1) 第1回理事会(4月17日(木))

##### 審議事項

- ① 正会員の入会について
- ② 令和6年度事業報告(案)について
- ③ 令和6年度決算報告(案)について
- ④ 定款・規則・規程の見直し(案)について
- ⑤ 通常総会時の表彰候補者(案)について

##### 報告事項

- ⑥ 全国支部長・県協会長会議及び第62回通常総会の開催案内について
- ⑦ 令和7年10月全国支部長・県協会長会議参加意向アンケートについて
- ⑧ その他

(2) 第1回臨時理事会（5月28日（水））

審議事項

- ① 会長、副会長及び専務理事の選考の件
- ② 会長職の代行順位について
- ③ 顧問委嘱について同意を求める件

(3) 第2回臨時理事会（7月、書面決議）

審議事項

- ① 正会員の入会について

(4) 第3回臨時理事会（8月、書面決議）

審議事項

- ① 正会員の入会について
- ② 委員会の委員委嘱（案）について

(5) 第4回臨時理事会（10月、書面決議）

審議事項

- ① 正会員の入会について

(6) 第2回理事会（12月3日（水））

審議事項

- ① 令和8年度本部諸会議等予定（案）について
- ② 令和8年度講習・研修実施計画（案）について
- ③ 講習・研修関係事務規程の一部改正概要（案）について  
（更新講習・研修の受講形式 eラーニング）

報告事項

- ④ 令和7年度上半期収支報告について
- ⑤ 令和7年度本部正会員数等及び技能資格者数について（地域別）

(7) 第5回臨時理事会（1月、書面決議）

審議事項

- ① 退任役員に対する功労金の授与について

(8) 第3回理事会（令和8年3月11日（水））

審議事項

- ① 正会員の入会について
- ② 令和8年度事業計画（案）について
- ③ 令和8年度収支予算（案）について
- ④ 総会等の議題・スケジュール（案）及び事前案内について  
設立50周年記念事業の概要

## 報告事項

- ⑤ その他
  - 1) 特別技術講習会の開催状況について
  - 2) 支部技術講習会の開催について
  - 3) 道路附属物の点検支援技術の公募について
  - 4) 支部（協会）の総会開催予定について

### 3 支部長会

3回の支部長会を開催した。議事等は下記のとおりである。

#### (1) 第1回支部長会（4月17日（木））

##### 議 事

- ① 正会員の入会について
- ② 令和6年度事業報告（案）について
- ③ 令和6年度決算報告（案）について
- ④ 定款・規則・規程の見直し（案）について
- ⑤ 通常総会時の表彰候補者（案）について
- ⑥ 全国支部長・県協会長会議及び第62回通常総会の開催案内について
- ⑦ 令和7年度10月全国支部長・県協会長会議参加意向アンケートについて
- ⑧ その他

#### (2) 第2回支部長会（11月19日（水））

##### 議 事

- ① 令和8年度本部諸会議等予定（案）について
- ② 令和8年度講習・研修実施計画（案）について
- ③ 講習・研修関係事務規程の一部改正概要（案）について  
（更新講習・研修の受講形式 eラーニング）
- ④ 令和7年度上半期収支報告について
- ⑤ 令和7年度本部正会員数等及び技能資格者数について（地域別）

#### (3) 第3回支部長会（令和8年3月4日（水））

##### 議 事

- ① 正会員の入会について
- ② 令和8年度事業計画（案）について
- ③ 令和8年度収支予算（案）について
- ④ 総会等の議題・スケジュール（案）及び事前案内について  
設立50周年記念事業の概要
- ⑤ その他
  - 1) 特別技術講習会の開催状況について
  - 2) 支部技術講習会の開催について

- 3) 道路附属物の点検支援技術の公募について
- 4) 支部（協会）の総会開催予定について

#### 4 全国支部長・県協会長会議

- (1) 5月28日（水）午後1時20分からホテルグランドアーク半蔵門において、通常総会に先立ち、全国支部長・県協会長会議を開催した。会議では、「国土強靱化を取り巻く最近の情勢について」と題する内閣官房国土強靱化推進室丹羽克彦次長及び「道路標識など道路附属物の老朽化状況に関する全国住民アンケートについて」と題する古河電気工業㈱営業総括本部ソーシャルデザイン統括部事業推進部インフラDX課池内正人課長の講演が行われた後、10月に石川県金沢市で予定されている全国支部長・県協会長会議について、説明があった。
- (2) 10月30日（木）、ホテル日航金沢（石川県金沢市）において、全国支部長・県協会長会議を開催した。これは、これまで秋季の「支部長・県協会長会議」については東西ブロック別で行っていたところ、全国会議に拡大して実施したものである。会議では、下記議題につき、全標協本部及び各支部（協会）から報告、発表が行われ、支部議題に対して本部からコメントがなされた。

＜本部報告議題＞

- ① 令和8年度予算等 国交省、警察庁への要望事項について

＜支部（協会）発表議題＞

【北海道協会】①職種別労務単価について

②はみ出し禁止線塗装工事の試験的实施について

③高校インターンシップ活動の実施について

【東北支部】①RVを用いた区画線剥離状況調査について

【関東支部】①国土交通省関東地方整備局との災害協定について

②意見交換

【北陸支部】①高校生（土木科）に対する出前講座について

#### 5 各委員会

広報教育委員会は、委員会を4回開催した。委員会では、機関紙「トラフィックサポーター」の編集方針など全標協の広報活動について審議した。

道路標識委員会、路面標示委員会及び環境・防護柵等委員会は、委員長、副委員長を選出するとともに、令和7年度事業計画等について話し合い、必要な作業を進めた。また、路面標示委員会は路面標示ハンドブックの改訂作業を進め、「路面標示ハンドブック 第6版」を完成させた。

#### 6 講師連絡会議

令和8年1月27日（火）、道路標識、路面標示合同の講師連絡会議を兵庫県神戸市の有馬グランドホテルで開催した。

全国の支部から、技術講習会の現状と講師経験に関する声が集まり、多くの地域で講習会の必要性は認識されている一方、人材不足・テーマ設定・地域事情が課題として浮かび上がった。

全国的に講習会の必要性は高まっているものの、上記の課題がハードルとなっており、更新講習テキストや助成金制度の活用など、実施に向けた工夫が求められる。

## 7 賛助会員情報交換会

令和8年1月21日（水）、ホテルグランドアーク半蔵門において、「賛助会員情報交換会」を開催し、賛助会員19社（団体）と全標協の会長、副会長、専務理事等が出席した。情報交換会では、全標協から

- ① 令和7年度全標協活動状況について
- ② 令和8年度全標協諸会議予定について
- ③ 令和8年度全標協講習・研修計画について
- ④ 標識点検に係る新技術の募集について

に関して説明を行い、「賛助会員の全標協正会員に対するアピール方法等について」、「賛助会員の近況（話題）について」に関し、意見交換を行った。

## 8 全国事務局長・事務担当者合同会議

令和8年2月5日（木）、全標協会議室において、全国事務局長・事務担当者合同会議を開催した。会議には、各支部等の事務局長及び事務担当者と全標協の専務理事及び事務局職員が参加した。会議では、全標協から、

- ① 令和7年度全標協の活動について
- ② 令和8年度諸会議予定について
  - (1) 50周年記念行事
  - (2) 10月全国支部長・県協会長会議
- ③ 令和8年度講習・研修計画について  
(eラーニングの概要)
- ④ 講師連絡会議の状況について
  - (1) 1月27日開催の報告
  - (2) 講師の委嘱（継続）

に関して説明するとともに、各支部・協会からの質疑、要望を踏まえながら意見交換を行った。

※ アンダーライン部分は、主な新規事業活動等

### 第3 会員の状況

#### 1. 会員の異動状況

会員の種別	令和6年度末	令和7年度中の異動		令和7年度末
	現在数	増	減	現在数
正会員	608	18	5	621
支部会員	32	0	2	30
賛助会員	20	1	2	19
計	660	19	9	670

#### 2. 支部別会員数

支部名	正会員	支部会員	計	備考
北海道	39	0	39	
東北	43	5	48	
関東	187	5	192	
北陸	40	1	41	
中部	83	8	91	
関西	55	5	60	
中国	43	2	45	
四国	40	0	40	
九州	79	4	83	
沖縄	12	0	12	
計	621	30	651	

## 別表1

## 会員異動の内訳（令和7年度）

## ◎正会員の部

年 月 日	入 会	退 会	現在数
令和7年4月1日	株 ジーニース建設（関東支部）		609
”	有 幸ロードライン（関東支部）		610
”	株 エーティーアール（北陸支部）		611
令和7年4月17日	株 日本ロード（関東支部）		612
”	株 ロマック（関東支部）		613
”	株 フジ工芸（四国協会）		614
”	九州道路施設株（九州協会）		515
”	道路サービス株（九州協会）		616
”	株 日 栄（九州協会）		617
令和7年6月18日		株 ムック（九州協会）	616
令和7年7月8日	株 アシスタ（関東支部）		617
”	株 サンライン企画（関東支部）		618
”	有 ソア一（関東支部）		619
”	株 ノールディベール（関東支部）		620
”	山十道路株（関東支部）		621
”	大面建設株（関東支部）		622
令和7年8月7日	有 碧鳳建設（沖縄協会）		623
”	有 真技建（沖縄協会）		624
令和7年10月16日	株 二葉技建（九州協会）		625
令和8年1月31日		協立道路工業株（北陸支部）	624
令和8年3月31日		協栄産業株（中部支部）	623
”		株ダイエーディスプレイズ（中部支部）	622
”		株みどり安全社（中部支部）	621

## ◎支部会員の部

年 月 日	入 会	退 会	現在数
令和7年6月3日		日本リーテック株新潟営業所	31
令和8年3月31日		株アトム東京営業所	30

## ◎賛助会員の部

年 月 日	入 会	退 会	現在数
令和7年4月1日	R o n k 株		21
令和8年3月31日		トラフィックサインメーカー協会	20
”		R o n k 株	19

令和8年3月31日 現在

## 貸借対照表(案)

令和8年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	167,413,597	155,040,004	12,373,593
未収金	1,093,096	690,679	402,417
有価証券	15,000,000	19,000,000	△ 4,000,000
商品	4,201,626	4,645,681	△ 444,055
仕掛品	0	15,801	△ 15,801
前払費用	735,100	985,550	△ 250,450
流動資産合計	188,443,419	180,377,715	8,065,704
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
退職給付引当資産	18,000,000	18,000,000	0
記念事業準備積立資産	3,510,400	3,506,149	4,251
事務所移転準備積立資産	4,000,000	4,000,000	0
特定資産合計	25,510,400	25,506,149	4,251
(2) その他固定資産			
建物附属設備	455,052	546,188	△ 91,136
ソフトウェア	580,800	970,200	△ 389,400
電話加入権	238,777	238,777	0
敷金	5,063,476	5,063,476	0
その他固定資産合計	6,338,105	6,818,641	△ 480,536
固定資産合計	31,848,505	32,324,790	△ 476,285
資産合計	220,291,924	212,702,505	7,589,419
II. 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	3,853,924	3,843,064	10,860
預り金	318,503	11,792	306,711
流動負債合計	4,172,427	3,854,856	317,571
2. 固定負債			
退職手当積立金	10,019,022	11,819,022	△ 1,800,000
記念事業準備積立金	3,996,697	3,996,697	0
事務所移転準備積立金	4,000,000	4,000,000	0
固定負債合計	18,015,719	19,815,719	△ 1,800,000
負債合計	22,188,146	23,670,575	△ 1,482,429
III. 正味財産の部			
1. 一般正味財産	198,103,778	189,031,930	9,071,848
(うち特定資産への充当額)	( 7,494,681)	( 5,690,430)	( 1,804,251)
正味財産合計	198,103,778	189,031,930	9,071,848
負債及び正味財産合計	220,291,924	212,702,505	7,589,419

# 貸借対照表内訳表 (案)

令和8年3月31日現在

(単位：円)

科 目	公益事業会計	収益事業会計	法人会計	内部取引消去	合 計
<b>I. 資産の部</b>					
1. 流動資産					
現金預金		7,843,421	159,570,176		167,413,597
未収金	180,000	913,096			1,093,096
有価証券			15,000,000		15,000,000
商用品		4,201,626			4,201,626
前払費用	294,040	220,530	220,530		735,100
公益事業会計			533,487,821	△ 533,487,821	0
収益事業会計			62,603,788	△ 62,603,788	0
流動資産合計	474,040	13,178,673	770,882,315	△ 596,091,609	188,443,419
2. 固定資産					
(1) 特定資産					
退職給付引当資産			18,000,000		18,000,000
記念事業準備積立資産			3,510,400		3,510,400
事務所移転準備積立資産			4,000,000		4,000,000
特定資産合計	0	0	25,510,400	0	25,510,400
(2) その他固定資産					
建物附属設備			455,052		455,052
ソフトウェア	310,200		270,600		580,800
電話加入権		83,493	155,284		238,777
敷金			5,063,476		5,063,476
その他固定資産合計	310,200	83,493	5,944,412	0	6,338,105
固定資産合計	310,200	83,493	31,454,812	0	31,848,505
資産合計	784,240	13,262,166	802,337,127	△ 596,091,609	220,291,924
<b>II. 負債の部</b>					
1. 流動負債					
未払金	2,329,952	987,909	536,063		3,853,924
預り金	318,503				318,503
法人会計	533,487,821	62,603,788		△ 596,091,609	0
流動負債合計	536,136,276	63,591,697	536,063	△ 596,091,609	4,172,427
2. 固定負債					
退職手当積立金			10,019,022		10,019,022
記念事業準備積立金			3,996,697		3,996,697
事務所移転準備積立金			4,000,000		4,000,000
固定負債合計	0	0	18,015,719	0	18,015,719
負債合計	536,136,276	63,591,697	18,551,782	△ 596,091,609	22,188,146
<b>III. 正味財産の部</b>					
1. 一般正味財産					
(うち特定資産への充当額)	△ 535,352,036	△ 50,329,531	783,785,345	0	198,103,778
	( 0)	( 0)	( 7,494,681)	( 0)	( 7,494,681)
正味財産合計	△ 535,352,036	△ 50,329,531	783,785,345	0	198,103,778
負債及び正味財産合計	784,240	13,262,166	802,337,127	△ 596,091,609	220,291,924

# 正味財産増減計算書(案)

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取入金			
受取入金	1,600,000	1,400,000	200,000
受取会費			
正会員受取会費	92,990,000	93,600,000	△ 610,000
賛助会員受取会費	5,000,000	4,800,000	200,000
事業収入			
基幹技能者講習収益	18,886,450	18,914,500	△ 28,050
道路標識点検診断士研修収益	7,701,100	8,996,900	△ 1,295,800
刊行物売上	14,479,080	14,127,740	351,340
その他物品売上	21,945	97,185	△ 75,240
受取手数料	2,455,019	1,540,002	915,017
受取助成金			
受取助成金	290,000	735,760	△ 445,760
雑収益			
受取利息	577,201	273,690	303,511
雑収益	413,458	454,720	△ 41,262
経常収益計	144,414,253	144,940,497	△ 526,244
(2) 経常費用			
事業費			
役員報酬	6,815,798	8,800,014	△ 1,984,216
給料	10,172,040	11,006,950	△ 834,910
諸手当	5,165,365	4,225,692	939,673
法定福利費	3,103,315	3,055,038	48,277
県協会長会議費	9,331,602	8,935,237	396,365
各種委員会議費	3,296,728	3,539,259	△ 242,531
資格制度運営費	325,262	1,209,530	△ 884,268
基幹技能者講習費	11,097,107	10,712,208	384,899
道路標識点検診断士研修費	6,512,306	7,284,984	△ 772,678
講習会費	299,140	0	299,140
調査費	488,458	0	488,458
広報費	5,098,942	5,932,861	△ 833,919
50周年記念事業費	82,337	0	82,337
刊行物売上原価	3,118,761	3,349,950	△ 231,189
その他物品売上原価	17,441	77,236	△ 59,795
諸会議費	2,989,318	2,479,611	509,707
旅費交通費	611,878	666,556	△ 54,678
通信用費	1,450,253	962,954	487,299
減価償却費	310,200	310,200	0
消耗品費	64,551	101,851	△ 37,300
広告費	291,500	291,500	0
印刷費	246,224	1,946,748	△ 1,700,524
発送費	959,329	803,819	155,510
光熱水料	173,885	123,344	50,541
借料損料	8,661,700	8,234,865	426,835
函書費	29,538	76,959	△ 47,421
交際費	15,190	10,874	4,316
表彰費	415,596	356,674	58,922
租税公課	1,798,627	1,812,124	△ 13,497

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
関 係 団 体 会 費	1,577,000	1,777,000	△ 200,000
助 成 金 支 出	3,288,800	4,461,300	△ 1,172,500
贈 呈 費	236,931	688,786	△ 451,855
業 務 委 託 費	6,810,650	4,615,625	2,195,025
支 払 手 数 料 費	1,148,575	1,133,957	14,618
雑 費	4,980	4,980	0
管 理 費			
役 員 報 酬	6,968,453	7,133,366	△ 164,913
給 諸 手 当	7,799,160	5,764,090	2,035,070
退 職 給 付 費 用	3,821,863	2,932,922	888,941
法 定 福 利 生 費	0	2,000,000	△ 2,000,000
福 利 厚 生 費	2,920,668	2,667,681	252,987
福 祉 生 費	570,741	487,866	82,875
総 理 事 会 費	2,912,933	2,145,467	767,466
支 部 長 会 費	1,746,054	2,179,467	△ 433,413
支 諸 会 議 費	1,247,431	1,605,195	△ 357,764
旅 費 交 通 費	1,415,917	1,117,307	298,610
通 信 費	483,842	556,136	△ 72,294
減 価 償 却 費	191,914	142,997	48,917
備 品 費	170,336	137,336	33,000
消 耗 品 費	5,962	60,889	△ 54,927
印 刷 費	75,033	77,456	△ 2,423
送 料 費	734,584	365,618	368,966
光 熱 水 料	6,446	12,134	△ 5,688
借 料 損 料	63,539	52,862	10,677
交 際 費	4,975,440	4,920,992	54,448
租 税 公 課	196,782	134,222	62,560
業 務 委 託 費	327,993	508,771	△ 180,778
支 払 手 数 料 費	109,411	42,373	67,038
雑 費	334,400	290,400	44,000
経 常 費 用 計	1,500,362	1,472,029	28,333
評 価 損 益 等 調 整 前 当 期 経 常 増 減 額	65,946	49,655	16,291
	134,654,537	135,845,917	△ 1,191,380
評 価 損 益 等 調 整 前 当 期 経 常 増 減 額	9,759,716	9,094,580	665,136
特 定 資 産 評 価 損 益 等	0	0	0
評 価 損 益 等 計	0	0	0
当 期 経 常 増 減 額	9,759,716	9,094,580	665,136
2 経 常 外 増 減 の 部			
(1) 経 常 外 収 益			
経 常 外 収 益 計	0	0	0
(2) 経 常 外 費 用			
商 品 廃 棄 損	687,868	817,282	△ 129,414
経 常 外 費 用 計	687,868	817,282	△ 129,414
当 期 経 常 外 増 減 額	△ 687,868	△ 817,282	129,414
当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額	9,071,848	8,277,298	794,550
一 般 正 味 財 産 期 首 残 高	189,031,930	180,754,632	8,277,298
一 般 正 味 財 産 期 末 残 高	198,103,778	189,031,930	9,071,848
II 正 味 財 産 期 末 残 高	198,103,778	189,031,930	9,071,848

# 正味財産増減計算書内訳表（案）

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

（単位：円）

科 目	公益事業会計	収益事業会計	法人会計	内部取引消去	合 計
I 一般正味財産増減の部					
1 経常増減の部					
(1) 経常収益					
受取入金					
受取入金			1,600,000		1,600,000
受取会費					
正会員受取会費			92,990,000		92,990,000
賛助会員受取会費			5,000,000		5,000,000
事業収入					
基幹技能者講習収益	18,886,450				18,886,450
道路標識点検診断士研修収益	7,701,100				7,701,100
刊行物売上		14,479,080			14,479,080
その他物品売上		21,945			21,945
受取手数料		2,455,019			2,455,019
受取助成金					
受取助成金	290,000				290,000
雑収益					
受取利息		22,417	554,784		577,201
雑収益	370,000	1,527	41,931		413,458
経常収益計	27,247,550	16,979,988	100,186,715	0	144,414,253
(2) 経常費用					
事業費					
役員報酬	5,678,956	1,136,842			6,815,798
給料	7,605,504	2,566,536			10,172,040
諸手当	3,867,389	1,297,976			5,165,365
法定福利費	2,402,543	700,772			3,103,315
県協会長会議費	9,331,602				9,331,602
各種委員会費	3,296,728				3,296,728
資格制度運営費	325,262				325,262
基幹技能者講習費	11,097,107				11,097,107
道路標識点検診断士研修費	6,512,306				6,512,306
講習会費	299,140				299,140
調査費	488,458				488,458
広報費	5,098,942				5,098,942
50周年記念事業費	82,337				82,337
刊行物売上原価		3,118,761			3,118,761
その他物品売上原価		17,441			17,441
諸会議費	2,989,318				2,989,318
旅費交通費	611,878				611,878
通信費	854,573	595,680			1,450,253
減価償却費	310,200				310,200
消耗品費	64,551				64,551
広告費	291,500				291,500
印刷費	239,804	6,420			246,224
発送費	116,425	842,904			959,329
光熱水料	102,655	71,230			173,885
借料損料	5,544,082	3,117,618			8,661,700

科 目	公益事業会計	収益事業会計	法人会計	内部取引消去	合 計
図書費	29,538				29,538
交際費	15,190				15,190
表彰費	415,596				415,596
租税公課	1,225,996	572,631			1,798,627
関係団体費	1,577,000				1,577,000
助成金支出	3,288,800				3,288,800
贈呈費	236,931				236,931
業務委託費	6,810,650				6,810,650
支払手数料	1,006,453	142,122			1,148,575
雑費	2,844	2,136			4,980
管理費					
役員報酬			6,968,453		6,968,453
給料			7,799,160		7,799,160
諸手当			3,821,863		3,821,863
法定福利費			2,920,668		2,920,668
福利厚生費			570,741		570,741
総務費			2,912,933		2,912,933
理事会費			1,746,054		1,746,054
支部会費			1,247,431		1,247,431
諸会議費			1,415,917		1,415,917
旅交通費			483,842		483,842
通信費			191,914		191,914
減価償却費			170,336		170,336
備品費			5,962		5,962
消耗品費			75,033		75,033
印刷費			734,584		734,584
送水料			6,446		6,446
光熱水損料			63,539		63,539
借料			4,975,440		4,975,440
図書費			196,782		196,782
交際費			327,993		327,993
租税公課			109,411		109,411
業務委託費			334,400		334,400
支払手数料			1,500,362		1,500,362
雑費			65,946		65,946
経常費用計	81,820,258	14,189,069	38,645,210	0	134,654,537
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 54,572,708	2,790,919	61,541,505	0	9,759,716
特定資産評価損益等	0	0	0	0	0
評価損益等計	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 54,572,708	2,790,919	61,541,505	0	9,759,716
2 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
経常外収益計	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用					
商品廃棄損		687,868			687,868
経常外費用計	0	687,868	0	0	687,868
当期経常外増減額	0	△ 687,868	0	0	△ 687,868
当期一般正味財産増減額	△ 54,572,708	2,103,051	61,541,505	0	9,071,848
一般正味財産期首残高	△ 480,779,328	△ 52,432,582	722,243,840	0	189,031,930
一般正味財産期末残高	△ 535,352,036	△ 50,329,531	783,785,345	0	198,103,778
II 正味財産期末残高	△ 535,352,036	△ 50,329,531	783,785,345	0	198,103,778

# 財 産 目 録

令和 8 年 3 月 3 1 日現在

(単位：円)

科 目	金 額	金 額	額
<b>I. 資 産 の 部</b>			
1. 流 動 資 産			
現金手許有高	現金手許有高	23,705	
振替貯金	ゆうちょ銀行海事ビル内郵便局	2,121,822	
普通預金	三菱UFJ銀行麹町中央支店	146,880,140	
普通預金	三菱UFJ銀行麹町支店	339,117	
普通預金	みずほ銀行麹町支店	4,698,549	
普通預金	りそな銀行市ヶ谷支店	427,611	
普通預金	三井住友銀行麹町支店	2,846,725	
定期預金	大和ネクスト銀行ダイコク支店	10,075,928	
有価証券	ダイワ日本国ファンド(年1回決算型)	15,000,000	
未収金	ハンドブック代、広報広告料他	1,093,096	
商品	道路標識、路面標示ハンドブック棚脚他	4,201,626	
前払費用	にしかわビル3階4月分賃料他	735,100	
流動資産合計			188,443,419
2. 固 定 資 産			
(1) 特 定 資 産			
退職手当積立有価証券	第31回三菱UFJFG劣後債	1,000,000	
退職手当積立有価証券	第26回みずほFG劣後債	4,000,000	
退職手当積立有価証券	第31回みずほFG劣後債	2,000,000	
退職手当積立有価証券	第73回三菱UFJリース社債	4,000,000	
退職手当積立有価証券	第43回SBIホールディングス社債	3,000,000	
退職手当積立有価証券	第33回みずほFG劣後債	4,000,000	
記念事業準備積立有価証券	第73回三菱UFJリース社債	1,000,000	
記念事業準備積立定期預金	大和ネクスト銀行ダイコク支店	2,510,400	
事務所移転準備積立有価証券	第26回みずほFG劣後債	4,000,000	
特定資産合計		25,510,400	
(2) その他固定資産			
建物附属設備	可動間仕切り他	455,052	
ソフトウェア	標識データベースシステム(スマホ入力ツール)	580,800	
電話加入権	3回線 東日本電信電話(株)	238,777	
敷金	にしかわビル3階	5,063,476	
その他固定資産合計		6,338,105	
固定資産合計			31,848,505
資 産 合 計			220,291,924
<b>II. 負 債 の 部</b>			
1. 流 動 負 債			
未払金	講習管理費用、社会保険料他	3,853,924	
預り金	社会保険料、所得税3月等	318,503	
流動負債合計			4,172,427
2. 固 定 負 債			
退職手当積立金		10,019,022	
記念事業準備積立金		3,996,697	
事務所移転準備積立金		4,000,000	
固定負債合計			18,015,719
負 債 合 計			22,188,146
正 味 財 産			198,103,778

## 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

#### (1) 有価証券の評価方法

- ① 満期保有目的の債券……保有している。
- ② その他有価証券で時価のあるもの…期末日の市場価格等に基づく時価法はしていない。

#### (2) 棚卸資産の評価方法は、最終仕入原価法を適用している。

#### (3) 固定資産の減価償却の方法

- ① 有形固定資産の減価償却は、定率法によっている。
- ② 無形固定資産の減価償却は、定額法によっている。

#### (4) 退職給付引当金は、期末要支給額の100%を計上している。

#### (5) 消費税等の会計処理は、税込経理によっている。

### 2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

#### (1) 基本財産は保有していない。

#### (2) 特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特 定 資 産	円	円	円	円
退職手当積立有価証券	18,000,000	7,000,000	7,000,000	18,000,000
記念事業準備積立定期預金	2,506,149	2,510,400	2,506,149	2,510,400
記念事業準備積立有価証券	1,000,000	0	0	1,000,000
事務所移転準備積立有価証券	4,000,000	0	0	4,000,000
合 計	25,506,149	9,510,400	9,506,149	25,510,400

### 3. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
特 定 資 産	円	円	円	円
退職手当積立有価証券	18,000,000	( 0)	( 7,980,978)	( 10,019,022)
記念事業準備積立定期預金	2,510,400	( 0)	( △ 486,297)	( 3,996,697)
記念事業準備積立有価証券	1,000,000	( 0)		
事務所移転準備積立有価証券	4,000,000	( 0)	( 0)	( 4,000,000)
合 計	25,510,400	( 0)	( 7,494,681)	( 18,015,719)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は  
固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

科 目	取 得 価 格	減 価 償 却 累 計 額	当 期 末 残 高
建 物 附 属 設 備	円	円	円
可 動 間 仕 切 り	1,458,000	1,147,738	310,262
電 気 設 備	680,400	535,610	144,790
ソ フ ト ウ ェ ア			
標識データベースシステム(26年度分)	3,240,000	3,240,000	0
標識データベースシステム(27年度分)	3,240,000	3,240,000	0
標識データベースシステム(28年度分)	3,240,000	3,240,000	0
標識データベースシステム(スマホ入カール)	1,551,000	1,240,800	310,200
会計システムPC設定請求書発行システム機能	396,000	125,400	270,600
合 計	13,805,400	12,769,548	1,035,852

## 附 属 明 細 書


1. 基本財産及び特定資産の明細  
基本財産及び特定資産の明細については、財務諸表に対する注記2.に記載してある。
2. 積立金(引当金)の明細

科 目	期 首 残 高	当 期 増 加 額	当 期 減 少 額		期 末 残 高
			目 的 使 用	そ の 他	
退 職 手 当 積 立 金	11,819,022	0	1,800,000	0	10,019,022
記 念 事 業 準 備 積 立 金	3,996,697	0	0	0	3,996,697
事 務 所 移 転 準 備 積 立 金	4,000,000	0	0	0	4,000,000

# 監査報告書

令和8年4月16日

一般社団法人全国道路標識・標示業協会  
会長 新美 政衛 様

監事 杉本 利孝 

私は、令和7年4月1日から令和8年3月31日までの令和7年度の理事の職務の執行について監査を行いました。その方法及び結果について、次のとおり報告します。

## 1 監査の方法及びその内容

監事は、理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他の重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決算書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。

## 2 監査意見

事業報告等は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。

貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録については、法人の財産、収支等の状況を全ての重要な点において適正に示しているものと認めます。

理事の職務の執行については、法令及び定款にのっとり適正に行われているものと認めます。

以上

## 令和8年度事業計画

道路標識、路面標示及び防護柵等の交通安全施設は、安全かつ快適な道路交通の確保に不可欠である。

道路標識・標示業界は、資材価格の高騰、労務費の上昇、入職者確保の困難化等の厳しい事業環境下において、予算の増額確保、適正な工期と費用のアップ、事業発注の平準化等を強く訴え、的確に対応していく必要がある。

一般社団法人全国道路標識・標示業協会（以下「全標協」という。）は、これらの情勢を踏まえ、交通安全施設関係予算の確保及び技術者・技能者の育成を中心とした各種事業を本事業計画に基づき着実に推進することとする。

### 1 受注拡大を目指した要望活動等の推進

- (1) 受注を拡大するために、国土交通省及び警察庁等へのタイムリーな予算要望活動を行う。また、支部等が行う地方整備局及び都道府県警察への要望活動を支援する。
- (2) 道路工事及び標識標示工事の分離発注並びに標識標示点検診断業務の標識標示専門業者への発注を推進するための要請活動を行う。
- (3) 防災・減災対策、国土強靱化に資するため、予算の確保、計画的な事業推進等に向けた要望活動を行う。
- (4) 関係行政機関の施策への協力、全国交通安全運動等の各種行事への協賛を行う。
- (5) 建設キャリアアップシステム制度に適切に対応する。

### 2 調査研究及び情報収集の推進

- (1) 道路標識委員会において次の活動を行う。
  - ・道路標識視認性検討会にて、実証実験の結果を踏まえたPRと各自治体への情報収集を行う。
  - ・道路標識点検診断士の更なるPR活動と、活用事例に係る情報収集と共有
  - ・今後の道路標識のあり方に関する調査研究
- (2) 路面標示委員会において次の活動を行う。
  - ・自動運転と路面標示の維持管理に関する調査研究
  - ・高視認性・高耐久性路面標示材等の調査研究
  - ・「路面標示工」の公共工事労務単価掲載についての検討
- (3) 環境・防護柵委員会において次の活動を行う。
  - ・生活用道路柵・ポラード等の説明会、勉強会の開催
  - ・防護柵単価の見直しの要請
  - ・防護柵の維持管理に関する調査研究

### 3 支部等及び関係団体との連携

- (1) 年度内に支部長会を3回開催するとともに、10月に山口県において全国支部長・県協会長会議を開催する。
- (2) 賛助会員との情報交換会を開催し、情報の共有を図るとともに、賛助会員が全標協正会員に対し活動紹介できる場を設けることなどに努める。また、青年部会により「メーカー勉強会」を開催する。
- (3) 建設関係諸団体との連携に努める。
- (4) 各支部及び都道府県協会における技術講習会等に対する支援を行う。
- (5) 交通安全活動等の社会貢献活動について、活動状況をトラフィックサポーターで広報する等支援を行う。
- (6) 防災・減災対策、国土強靱化に資するため、支部及び都道府県協会が締結を進める防災協定に対する支援を行う。

### 4 全標協の組織の充実強化等

- (1) 会員の増強を図り、組織の充実強化に努める。
- (2) メール等により、会員に対しより積極的に情報発信を行う。
- (3) 新たな支出項目に適切に対応できるよう、全標協の支出項目・金額は費用対効果の見地から不断の見直しを行い、適正な支出となるよう努める。
- (4) 会員が雇用する職員が道路標識点検診断士の資格を取得した場合、必要な助成を行う。
- (5) 若手を育成し、会員間の連携強化を図るため設置した青年部会を支援しつつ、全標協活動全体の活性化を図る。

### 5 技術者・技能者育成事業の推進

- (1) 登録基幹技能者講習の実施
  - ア 7月及び11月に富士教育訓練センターにおいて、登録標識・路面標示基幹技能者講習を実施する。
  - イ 更新講習を、eラーニング方式は4月20日(月)～6月20日(土)及び9月20日(日)～11月20日(金)に、対面方式は6月(高松)及び12月(東京)に実施する。
- (2) 道路標識点検診断士研修の実施
  - ア 9月に富士教育訓練センターにおいて、道路標識点検診断士研修を実施する。
  - イ 更新研修を、eラーニング方式は4月20日(月)～6月20日(土)及び9月20日(日)～11月20日(金)に、対面方式は12月(東京)に実施する。
- (3) 路面標示施工技能検定への協力
  - ア 中央職業能力開発協会中央技能検定委員である役員等が、学科試験問題の作成に協力する。
  - イ 各地の実技試験の運営等の協力を行う。
- (4) 講習・研修の充実  
登録基幹技能者講習及び道路標識点検診断士研修の更なる質の向上を図る。

#### (5) 全標協講師の活用

- ア 全標協講師については、その活動を支援するとともに、登録基幹技能者更新講習及び道路標識点検診断士更新研修をはじめ各種講習・研修等において、積極的に活用を図る。
- イ 全標協講師連絡会議を開催して、各地域での状況報告及び情報の共有を行う。また、これまで講習等を行ってきた講師で構成する講師アドバイザーは、連絡会議に対する支援を行う。

#### 6 広報活動の推進

- (1) 機関紙「トラフィックサポーター」を四半期に一回発行する。
- (2) トラフィックサポーター及びホームページの内容の充実に努める。
- (3) 青年部会により、SNS を利用した活動を推進する。

#### 7 表彰の推進

- (1) 功労者の功績に応えるため、叙勲、褒章、国土交通大臣表彰（建設事業関係功労）等の上申を的確に行う。
- (2) 技術者に誇りを持ってもらうため、優秀施工者国土交通大臣顕彰（建設マスター）及び青年優秀施工者不動産・建設経済局長顕彰（建設ジュニアマスター）の上申を的確に行う。
- (3) 総会時に、全標協の運営等功労者及び優良技能者への会長表彰を行う。

#### 8 図書等の発行

- (1) 「道路標識ハンドブック」、「路面標示ハンドブック」及び「路面標示施工技能検定学科試験の手引」の普及に努める。

#### 9 創立50周年記念事業の実施

記念行事として次の活動を行う。

- ・ 祝賀会の開催
- ・ 「全標協50周年記念誌」の発行
- ・ 記念品の配布

※ アンダーライン部分は、主な新規事業等

## 令和8年度収支予算書

令和8年4月1日から令和9年3月31日まで

(単位：円)

科 目	(会計別)			当 年 度	前 年 度	増 減	摘 要
	公益事業会計	収益事業会計	法人会計	予算額計	予算額計		
I 一般正味財産増減の部							
1. 経常増減の部							
(1) 経常収益							
受取入会金			1,000,000	1,000,000	1,000,000		
受取入会金			1,000,000	1,000,000	1,000,000		
受取会費			99,900,000	99,900,000	101,730,000	△ 1,830,000	
受取正会員会費			95,100,000	95,100,000	96,730,000	△ 1,630,000	
受取賛助会員会費			4,800,000	4,800,000	5,000,000	△ 200,000	
事業収益	27,870,000	10,670,000		38,540,000	42,420,000	△ 3,880,000	
基幹技能者講習収益	18,670,000			18,670,000	17,090,000	1,580,000	受講料
道路標識点検診断士研修収益	9,200,000			9,200,000	8,880,000	320,000	受講料
刊行物売上		8,640,000		8,640,000	15,000,000	△ 6,360,000	ハンドブック等
ソフトウェア販売高							
その他物品売上		100,000		100,000	70,000	30,000	
受託事業収益							
受取手数料		1,930,000		1,930,000	1,380,000	550,000	団体保険事務処理等
受取助成金	750,000			750,000	750,000		
受取助成金	750,000			750,000	750,000		基幹多能工育成、CCUS 能力評価
雑収益	420,000	20,000	560,000	1,000,000	670,000	330,000	
受取利息		20,000	520,000	540,000	210,000	330,000	預金、有価証券
雑収益	420,000		40,000	460,000	460,000		広報広告等
<b>経常収益計</b>	<b>29,040,000</b>	<b>10,690,000</b>	<b>101,460,000</b>	<b>141,190,000</b>	<b>146,570,000</b>	<b>△ 5,380,000</b>	
(1) 経常費用							
事業費	86,720,000	14,780,000		107,020,000	102,960,000	4,060,000	
管理費			39,690,000	37,500,000	36,320,000	1,180,000	
役員報酬	7,210,000	1,610,000	7,210,000	16,030,000	15,320,000	710,000	専務理事
給料	7,760,000	2,620,000	7,960,000	18,340,000	17,730,000	610,000	職員
諸手当	3,350,000	1,130,000	3,340,000	7,820,000	7,630,000	190,000	
臨時雇賃金							
退職給付費用							
法定福利費	2,620,000	770,000	2,480,000	5,870,000	6,110,000	△ 240,000	社会保険
福利厚生費			900,000	900,000	750,000	150,000	健診補助、職員行事
県協会長会議費	9,950,000			9,950,000	10,380,000	△ 430,000	旅費等(全国会議2回)
総会費			3,000,000	3,000,000	2,230,000	770,000	会場費等諸費用、意見交換会
理事会費			2,220,000	2,220,000	2,220,000		旅費等(年3回、臨時理事会1回)
支部長会費			1,420,000	1,420,000	1,520,000	△ 100,000	旅費等(年3回)
各種委員会費	3,630,000			3,630,000	3,910,000	△ 280,000	旅費等(標識、標示・防護柵委員会、青年部会)
資格制度運営費	130,000			130,000	300,000	△ 170,000	eラーニング撮影等
基幹技能者講習費	8,950,000			8,950,000	10,130,000	△ 1,180,000	旅費手当、教材、会場費等
道路標識点検診断士講習費	4,550,000			4,550,000	6,940,000	△ 2,390,000	旅費手当、教材、会場費等
講習会費					100,000	△ 100,000	地方講習会旅費

科 目	(会計別)			当 年 度	前 年 度	増 減	摘 要
	公益事業会計	収益事業会計	法人会計	予算額計	予算額計		
研 修 会 費							
調 査 研 究 費	1,000,000			1,000,000	10,000,000	△ 9,000,000	標識視認性関係諸費用
広 報 費	5,310,000			5,310,000	6,150,000	△ 840,000	トラフィックサポーター印刷, 発送
50周年記念事業費	3,600,000			3,600,000		3,600,000	
刊 行 物 売 上 原 価		2,040,000		2,040,000	2,980,000	△ 940,000	ハンドブック等
その他物品売上原価		80,000		80,000	50,000	30,000	黄色色見本
ソフトウェア開発費							
プロジェクト推進費							
諸 会 議 費	2,350,000		1,420,000	3,770,000	4,300,000	△ 530,000	旅費等(講師連絡会議,事務局 長会議等)
旅 費 交 通 費	600,000		500,000	1,100,000	1,060,000	40,000	各科目に属さない旅費
通 信 費	840,000	600,000	220,000	1,660,000	1,430,000	230,000	インターネット, 電話, デジ タルブック
減 価 償 却 費	300,000		150,000	450,000	480,000	△ 30,000	建物付属設備, ソフトウェア
備 品 費			30,000	30,000	30,000		備付品更新
消 耗 品 費	100,000		70,000	170,000	200,000	△ 30,000	文具, 事務用品
広 告 費	300,000			300,000	300,000		経済調査会, 新聞等
印 刷 費	1,960,000	20,000	1,010,000	2,990,000	1,660,000	1,330,000	コピー, 名刺, 封筒, 規則規程 集
発 送 費	150,000	660,000	20,000	830,000	840,000	△ 10,000	刊行物等, 梱包材
光 熱 水 料	100,000	80,000	80,000	260,000	190,000	70,000	電気料
借 料 損 料	5,540,000	3,100,000	4,980,000	13,620,000	13,640,000	△ 20,000	事務所賃料, 事務機器リース
図 書 費	50,000		200,000	250,000	250,000		新聞, 専門書
交 際 費	20,000		500,000	520,000	540,000	△ 20,000	慶弔, お中元, お歳暮
表 彰 費	440,000			440,000	440,000		表彰状印刷等, 記念品
租 税 公 課	920,000	1,910,000	50,000	2,880,000	2,480,000	400,000	法人税, 消費税, 利息所得税
寄 附 金							
関 係 団 体 会 費	1,580,000			1,580,000	1,780,000	△ 200,000	13 団体
助 成 金 支 出	3,530,000			3,530,000	4,530,000	△ 1,000,000	特別技術講習会, 点検診断士奨 励金
贈 呈 費					170,000	△ 170,000	出版物
業 務 委 託 費	16,160,000		340,000	16,500,000	4,970,000	11,530,000	技術部委託, 会計ソフト, 労 働保険, 学研:eラーニング業務
受 託 業 務 費							
支 払 手 数 料	1,000,000	150,000	1,520,000	2,670,000	2,750,000	△ 80,000	税理士報酬, 行政書士, 通信機 器 システム保守等
雑 費	10,000	10,000	70,000	90,000	80,000	10,000	事務所駆除, 古紙回収
予 備 費	△ 7,290,000			△ 7,290,000		△ 7,290,000	流動資産から支出 (eラーニン グ初期システム構築経費等)
経 常 費 用 計	86,720,000	14,780,000	39,690,000	141,190,000	146,570,000	△ 5,380,000	
当 期 経 常 増 減 額	△ 57,680,000	△ 4,090,000	61,770,000				